

## 第4学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年12月5日(水) 5校時 (13:40~14:25)・体育館

2. 議題 「みんなで仲よくクラス集会をしよう」

< 学級目標 >

いじめのない 一生懸命

元気な クラス

3. 議題について

### (1) 児童の実態

元気な児童が多く、一生懸命取り組もうと頑張る子が多い。学級目標の「いじめのない 一生懸命 元気な クラス」には、この一年間、楽しく協力をして、何事にも取り組もうという思いがある。みんなが一年間元気に過ごすという思いを出し合って決めた学級目標である。

本学級の子どもたちの課題としては「相手に対する関心の低さ」が挙げられる。担任が声をかけた時のその場では、優しく温かい子どもたちではある。ただ、自ら何かをしようという気持ちや、クラスの人への関心(思い)が低く、一人一人です活動しようとする姿が見られる。また、日々の生活や係活動などにおいても、4、5月当初は担任から声をかけないと動かない児童が多く、日々指導を繰り返してきた。

その成果もあってか、少しずつではあるが、自分から行動する姿が見られるようになってきた。一人一人の誕生日を聞き、その人数に合わせてプレゼントを作る遊び係や毎週新聞を発行する新聞係など、クラスのために熱心に取り組む係も出てきた。

子どもたちは、よくなっていきたいと努力を続けている。しかし、担任以外の先生が授業をするときや、出張等で1日空けてしまった時には、悲しい思いをしてしまう児童がおり、まだまだ取り組むべきことがある。

みんなと一緒によくなっていこうとする気持ちを育ていき、そしてその先にある、「自分に自信をもてる姿」・「仲間と共に歩もうとする姿」・「自分たちの生活は自分たちでつくっていこうとする姿」を求めている。

学級会をこれまで9回行い、そのうち集会活動は、今回が5回目である。1回目は、「教育実習生を迎えよう」2回目は、「ありがとう教育実習生」3回目は「4、5、6月の誕生日会をしよう」4回目は「7、8、9月の誕生日会をしよう」である。成果として、1回目の集会から子どもたち主導で集会を行った。その時は教育実習生を含め、みんなで楽しく遊びたいという意見から、「ばくだんゲーム」と、教室全体を分かってほしいという意見から、「たからさがし」の二つがでた。時間を考えて、一つにした方がよいという意見から、「たからさがし」と「ばくだんゲーム」を合体した「たからさがしばくだんゲーム」が生まれた。みんなの思いが入り、折り合いをつけて話し合っている姿に成長を感じた。実践の結果はとてもよく、実習生も、子どもたち自身も楽しめた集会活動になった。また、2、3、4回目の集会活動でも、笑顔が溢れ、よい集会活動になった。

学級会や、集会活動の課題としては、大きく二つが挙げられる。一つ目は、一人一人の意見を大切にすることや、相手を尊重する態度が挙げられる。教育実習生に向けての集会活動はとてもよい活動になったと子どもたち自身も納得したと感じる。ただ、係活動の見直しをした時には、相手を尊重する言葉が少なく、率直に思いを伝えてしまい、落ち込んでしまう児童がいた。悩んでいたりと、迷っている人がいたりするときは、そっ

と手を差し伸べ、それに応える子どもたちの姿や、寄り添える姿を、今後の話し合い活動や実践でも期待していきたい。二つ目は時間である。学級活動では、話し合いで折り合いがなかなかつけられず、授業外の時間を使って、話し合いを続ける必要があることもあった。また、集会活動でも、準備に時間がかかり過ぎてしまうこともあり、時間を意識しての活動に課題が残っている。

## (2) 議題選定の理由

今回の集会は「みんなで仲よくクラス集会をしよう」である。冬になるにつれて寒くなってきたので、体を温めつつみんなで仲よく集会をしたいという思いと、4年生の残りの日数も少なくなってきたことから、思い出をつくりたいという児童たちの思いから、本議題を選定した。

本議題での集会活動では、「みんなで仲よく」を第一として、みんなで仲よく作り上げた集会活動にしたいと考えている。自分たちなりに決めた内容に向けて、準備や、遊びをしていく中で、集団が高まっていくことを期待している。子どもたちの行動の中に、相手を気遣った言葉や歩み寄った言葉など、よい方向に向かってきていることを実感している。しかし、人任せにしてしまう児童や、人の意見に流されてしまう児童がいることも課題となっている。また、仲間と共に、同じ目標に向かって努力し、乗り越えていこうとする態度も徐々にではあるが、育ちつつある。4年生も残り4か月しかないことも考えて、再度確認の意味をこめ、クラス目標が達成に向かう機会の一つとして、活動してほしいと考えている。

今回の集会活動は、はじめからおわりまで、児童主体で展開していく。集会当日までに何かしら全員の児童が集会に関われるように指導し、全員で作り上げた集会活動を通して、仲間同士の励まし合いの中で成長し、共に高め合える仲間をつくってほしいと願っている。

## 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方について理解している。

## 5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動

～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～

中学年のめざす子どもの姿

○自分の思いや考えを進んで伝える子

【自分に自信をもてる姿】

○互いのよさを認め合いながら活動する子

【仲間と共に歩もうとする姿】

○自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子

【自分たちの生活は自分たちでつくっていかうとする姿】

## 【自分の思いや考えを進んで伝える子】(自分)

### ○「学級会プリント」の活用(事前・学級会・事後)

議題と提案理由や話し合いのめあてを伝え、議題に対する自分の考えをしっかりとって学級会に臨めるようにする。児童のふり返りに励ましのコメントをしたり、現在の自分や学級の課題について気が付けるような支援をしたりする。

### ○教室後方の黒板の活用(事前)

話し合い活動の前に、議題、提案理由、めあてを掲示することで、次の話し合い活動での自分の意見を持ちやすくし、見通しをもって参加できるようにする。

### ○話し合い活動の進め方・キャリアノート(学級会)

話し合い活動の手順や台詞がある台本で流れをイメージすることで、誰もが自信をもってできるようにする。また、司会グループで相談する中で計画を立てるようにする。

### ○発言についての指導(常時)

相手の思い・考えに対して自分が何を思い、考えるかの大切さを伝え、常にそれを目指せる環境づくり(日々の授業・指導)を意識し指導する。ただし、個々の発達段階を考慮し、一步一步の成長を認め価値付けていけるよう丁寧に支援(指導)する。

### ○話し合いの可視化(学級会)

出された意見を短冊に書き、色を変えて示したり、顔写真を使ったりして、話し合いの流れをつかみやすくする。黒板の記録を見れば今何について話し合っているのか分かるようにする。

### ○実践活動(事後)

集会や一人一人のめあてを意識しながら活動し、自分たちで決めたことを自分たちの力でやり遂げることができるようにする。集会活動を通して、達成感・充実感を得られるようにし、次に生かすことができるようにする。

## 【互いのよさを認め合いながら活動する子】(仲間)

### ○「学級会プリント」の活用(学級会)

「学級会プリント」で話し合い活動を終えてのふり返りや自己評価や感想、また次に向けての反省を書けるようにする。そして実践活動にも生かされるようにする。

### ○教師の助言(学級会)

実態に応じた助言内容と、そのタイミング(その場ですぐか、ふり返り時にするか、今ではないのか)を考え助言する。

### ○「聴き合い」の指導(常時)

話を聴くということは、相手を大事にすることであり、話し合い活動においても、とても重要なことであるということを、学級活動に限らず日々指導をする。

### ○つなぐ支援(常時)

みんなと力を合わせ、学校生活をつくっていくことや、目標の達成に向けた努力の大切さ、その先にある喜びを共に分かち合える素晴らしさを実感できるよう、児童同士がつながっていけるような声掛けや支援を意識し指導を続ける。

## ○実践活動（本時）

話し合い活動での提案理由やめあてを掲示することで、何のためにその活動を行うのかを一人一人が自覚できるようにし、同じ目標に向かって活動していけるようにする。また、自分たち自身の力で集会をやり遂げたという実感をもてるようにする。

## 【自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子】（生活）

### ○司会グループへの指導（事前）

司会や記録の活動に期待感をもち、進んで取り組めるようにする。また、学級会を自分たちでつくっていくという意識をもち、それを学級の友達に自分たちで伝えられるようにする。どのような集会が3組にとって一番いいのか考えられるようにする。

### ○話し合いの可視化（事前 学級会）

話し合いグッズを準備し、出された意見を短冊に書いたり、意見を出した際には自分の顔写真を黒板に貼ったりして話し合いの流れや友達の思いが分かるようにする。「出し合う→くらべ合う→まとめる」を一つの流れとすることで、見通しをもって進められるようにする。

### ○教師の助言（学級会）

今回の話し合い活動は「みんなで仲よく」である。そこから意識がはなれたときには自分たちで問題を解決していけるよう助言する。

### ○自分たちの生活に目を向ける（常時）

「自分たちの学校生活は自分たちでつくっていく」という問題意識を常になげかけ、気づき考え行動することで、日々の生活や活動、行事などへの取り組む姿勢が変わってくると考える。そういった意識の高まりが「〇〇をしたい」や「〇〇を目指したい」というような意欲となり提案へとつながっていく。積み重ねていく中で、自主的・実践的な態度を育てていく。

### ○ふり返り活動（本時）

活動をふり返り、みんなで共有し、互いの思いや願いを知り尊重していくことを大切にする。仲間を大切にし、仲間から大切にされていることを実感する経験を積む中で信頼を育み、支え合い共に歩いていく姿を育てていく。また、実践してどうだったか、個々の思いを共有することで、よかった点や課題を発見し、学級全体としての次の問題を捉えられるようにする。

### ○学級会プリント（事後）

学級会・集会を受けて、自分のめあてをもつことで自主的、実践的な態度で活動に取り組めるようにする。また、個の頑張りをみんなで共有し、共に励まし認め合う中で目標の達成に向かえるようにする。また、個々の頑張りを共有できるよう、一人一人のプリントを教室内に掲示する。



## 6. 活動の実際

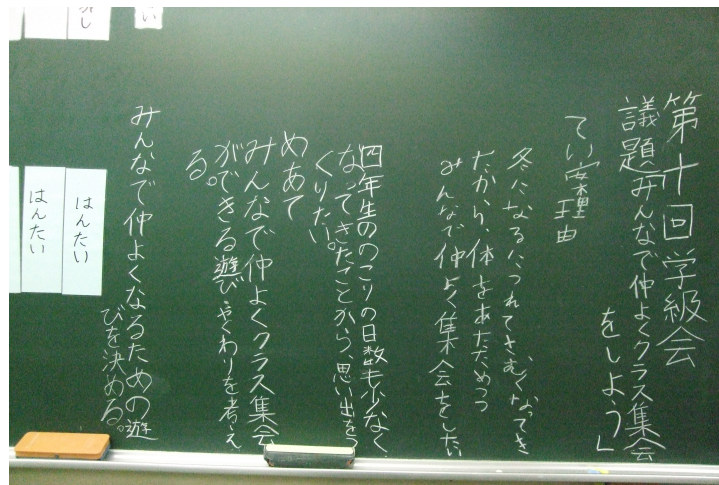
### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月中旬頃	・議題ポストに「みんなで仲よくクラス集会をたい」という思いが寄せられる。	○事前に学級会の内容を確認し、どんな集会にしたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。 ☆学級の充実と向上に関心をもち、次の学級会で話し合いたいことについて主体的に考え、実践へ向けて行動しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月19日(月) 中休み	・議題ポストから議題を集め話し合いの議題を選ぶ。	○今回の議題が「みんなで仲よく集会をしたい」というものであることを提案者に確認する。 ☆寄せられた議題の中から議題を選ぼうとしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
11月20日(火) 中休み	・司会グループと提案者で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会・タイム1 ・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを考えるように促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆話し合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆教師とともに話し合いの進め方や話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
11月20日(火) 帰りの会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆議題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月21日(水) 朝の会	・自分の考えを学級会プリントに記入する。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

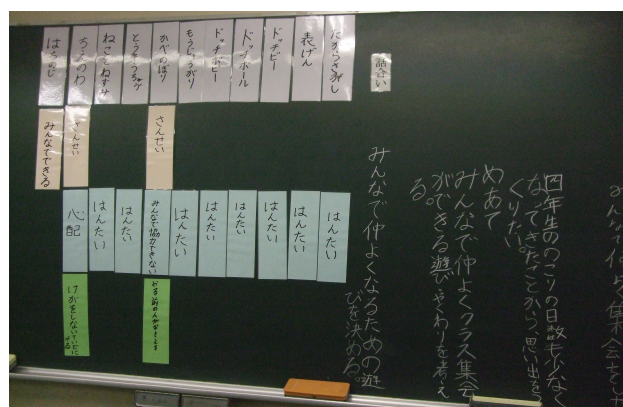
<p>11月26日(月) 学級会</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>決まったこと &lt;遊び&gt; 8の字跳び &lt;役割&gt; 司会 はじめの言葉 ルール説明・ タイム かざりつけ 終わりの言葉</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめの言葉</li> <li>2. 司会グループの紹介</li> <li>3. 議題の確認</li> <li>4. 提案理由の確認</li> <li>5. 話合いのめあての確認 「みんなで仲よくクラス 集会をしよう」</li> <li>6. 話合い 柱1 遊び</li> <li>7. 話合い 柱2 役割</li> <li>8. 決まったこと</li> <li>9. ふり返り</li> <li>10. 先生の話</li> <li>11. 終わりの言葉</li> </ol>	<p>○司会が話合いの進め方などつまづいた際には、助言する。</p> <p>☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き詰った際には助言する。</p> <p>☆自分の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○話合いのめあてを意識した発言、司会グループの頑張りを称賛し意欲的に実践に向かうことができるようにする。</p>
<p>11月27日(火) ～</p>	<p>・役割ごとに活動計画を立てて準備をする。</p>	<p>○めあてに向かった工夫ができるように助言する。</p> <p>○役割ごとの進捗状況を確認し、必要に応じて助言する。</p> <p>☆決まった役割の準備を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

学級会

議題や提案理由の板書



学級会 柱1 遊びについて



学級会 柱2 役割分担について



## (2) 本時の活動

### ①ねらい

学級目標の達成に向けて、「みんなが仲よくなること」を意識して集会をする。

### ②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
1. はじめの会 ・はじめの言葉 ・めあての確認 2. 8の字跳び	○一人一人のめあてを書いた模造紙を掲示する。 ○一人一人の役割に応じた準備をする様子を見守り、足りない点などがあれば助言する。 ○進め方などでつまずいた時には、近くで助言する。  <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px;"><p>&lt;児童の役割&gt;</p><p>○司会 … 企画・準備</p><p>○はじめの言葉 … 言葉</p><p>○かざりつけ … 模造紙(めあてを貼る) プログラム 体育館出入り口の装飾 くす玉</p><p>○ルール・タイム… ルールや道具の準備</p><p>○終わりの言葉 … 言葉</p></div>
結果発表 3. 終わりの会 ・ふり返り ・先生の話 ・終わりの言葉	○安全面に留意して活動に取り組むことができるようにする。 ☆話合いで決定したことを受け、ねらいを意識しながら集会活動に取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ○やり遂げた喜びを実感させるとともに、集会のねらいや目指した自分の姿、友達の頑張りなどを中心にふり返りができるように見守る。 ○これまでの準備や集会活動を通して、ねらいを意識した取り組みについて具体的に認められるようにする。 課題があった場合には、今後に生かせるようにする。

### ③ 板書計画

<p>第十回 学級会</p> <p>議題 「みんなで仲よくクラス集会をしよう」</p> <p>提案理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬になるにつれて寒くなってきたから、体を温めつつみんなで仲よく集会をしたい。</li> <li>・4年生の残りの日数も少なくなってきたことから、思い出を作りたいたいという児童の思いから。</li> </ul> <p>(二人分)</p> <p>めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで仲よくクラス集会ができる遊び・役割を考えよう。</li> </ul> <p>話し合い・柱1</p> <p>みんなで仲よくなるための遊びを決める</p> <p>カベのぼり</p> <p>8の字跳び</p> <p>話し合い・柱2</p> <p>役割を決める</p> <p>司会</p> <p>言葉</p> <p>ルール</p> <p>決まったこと</p> <p>先生から</p> <p>ふり返り</p>	<p>決まっていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年3組、全員で取り組む。</li> <li>・日時場所</li> <li>12月5日(水) 体育館</li> <li>・遊びを1つ決める</li> </ul>
--	--

### (3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月6日(木) 朝の時間	・ふり返りを書く。	○集会を通して、自分の役割やなりたい姿に対してどうであったかという視点でふり返りを書く。また、ふり返りに対して仲間からコメントをもらい、次の活動への意欲を高める。 ☆活動に対する自分の取り組みや活動を終えての自分や学級の様子をふり返り、次に生かそうとしている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)